

**各論**

## 牛乳の価値認識に関する根源的考察①

牛乳のもたらす価値に関する生活者認識の現状

～質問～

「牛乳を飲むと、よいこと」といわれて、  
あなたが思いつくことをお知らせください。

様々な牛乳関与の生活者5000人に上記の質問をした結果  
その回答の主たるものは、大きく以下の6つに大別される

カルシウムがよくとれる

たんぱく質がよくとれる

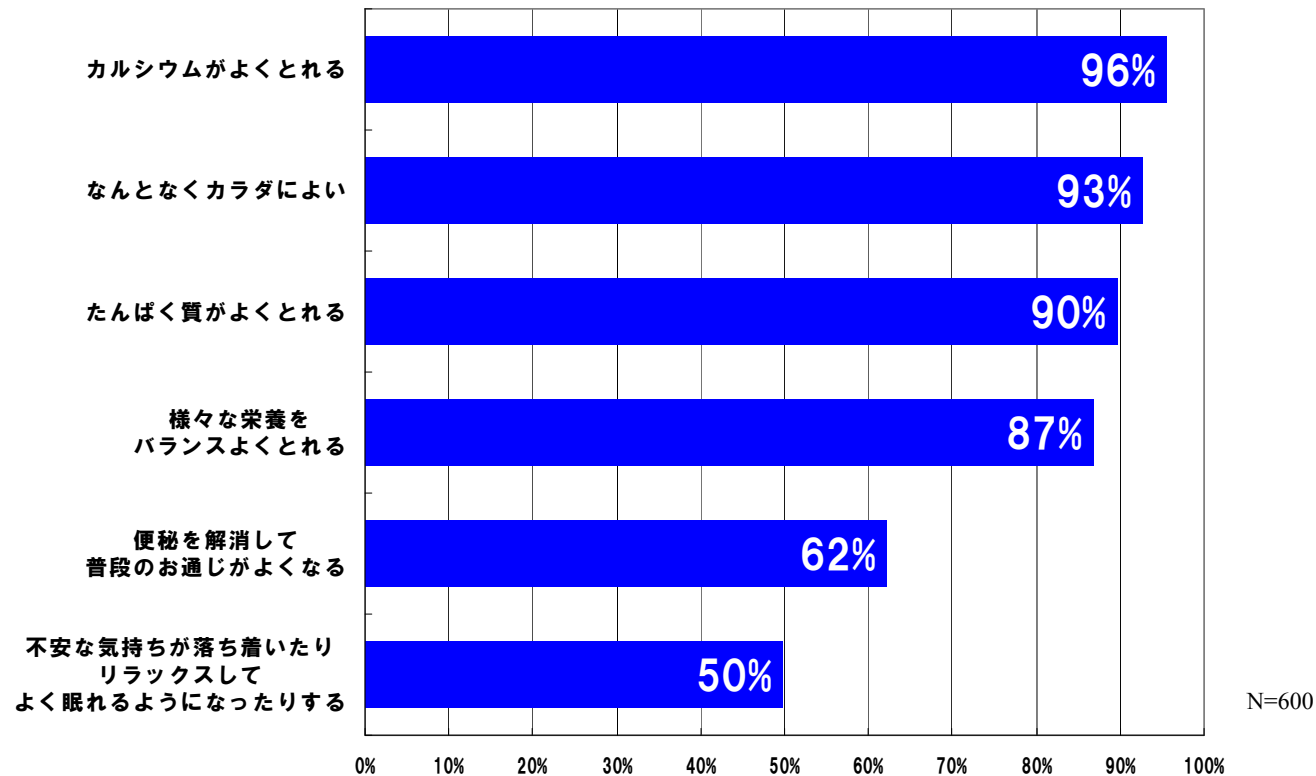
様々な栄養をバランスよくとれる

なんとなくカラダによい

便秘を解消して普段のお通じがよくなる

不安な気持ちが落ち着いたり、リラックスしてよく眠れるようになったりする

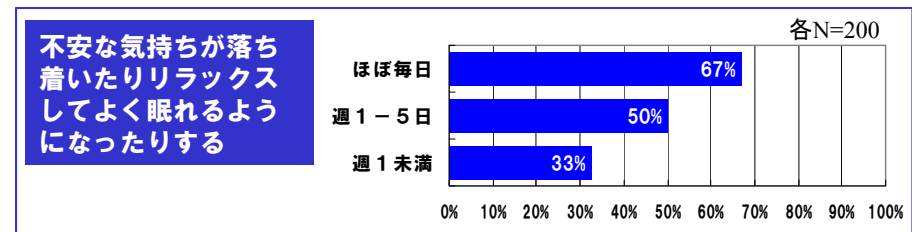
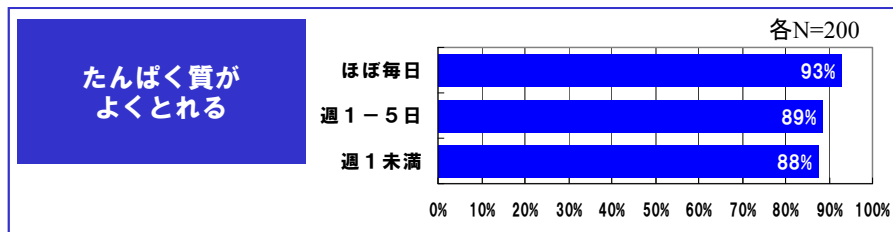
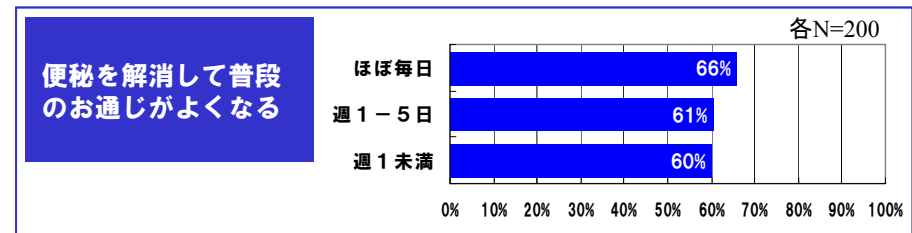
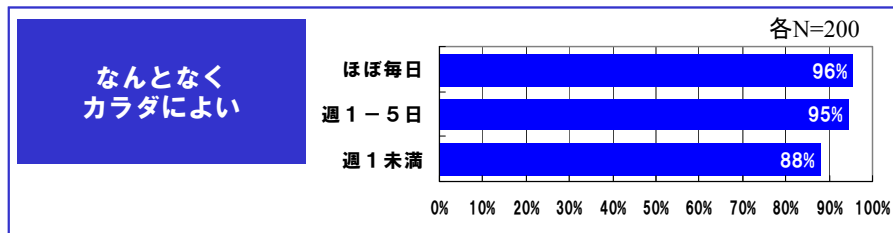
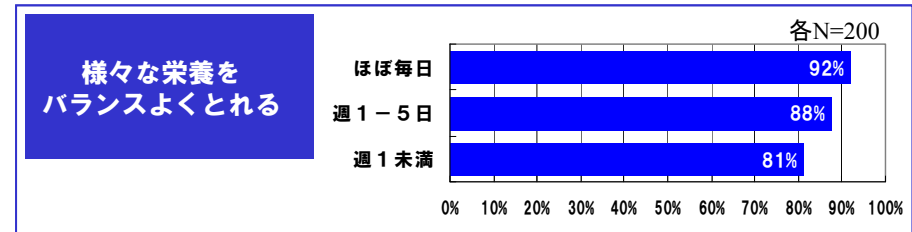
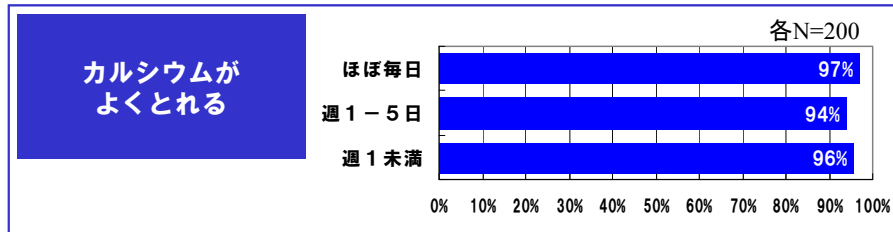
## 牛乳の価値に対する認識度



「カルシウムがよくとれる／なんとなくカラダによい／たんぱく質がよくとれる／様々な栄養をバランスよくとれる」といった認識は、ほぼ9割がもっている。

「便秘解消／不安な気持ちが・・・よく眠れるようになったりする」の認識は、それほどまでは普及していない。

## 牛乳の価値認識度×牛乳の購入頻度



「カルシウムがよくとれる／なんとなくカラダによい／たんぱく質がよくとれる／様々な栄養をバランスよくとれる／便秘解消」といった認識は、牛乳の購入頻度によって認識の量が大きく変わらない。

「不安な気持ちが落ち着いたり、リラックスしてよく眠れるようになったりする」は、牛乳の購入頻度によって認識の量が明確に異なる。

カルシウムがよくとれる  
なんとなくカラダによい  
たんぱく質がよくとれる  
様々な栄養をバランスよくとれる  
便秘解消

牛乳の購入頻度によって  
認識量が大きく変わらない。

牛乳の既知栄養機能

不安な気持ちが  
落ち着いたり、リラックスして  
よく眠れるようになったりする

牛乳の購入頻度によって  
認識量が明確に異なる。

牛乳が今後形成すべき価値認識

牛乳の既知栄養機能に対する  
意識には、どんな違いはあるか？

上記の牛乳の価値認識は  
どのように形成されるのか？

牛乳の購入を強化する「知見」を得るための更なる分析の方向性